

公共政策研究 第6号 目次

| | | |
|---------------------------------|------|-----|
| 巻頭言 政策決定と政策分析の間 | 植田和男 | 3 |
| 特集 「政策の総合調整」をめぐって | | |
| 2006年度年報委員会を代表して | 御厨 貴 | 5 |
| 特集 政策の総合調整 | | |
| 内閣法制局の国政秩序形成機能 | 大石 眞 | 7 |
| 政治化と行政化のはざまの司法権 | | |
| —最高裁判所 1950～1960— | 牧原 出 | 17 |
| 経済財政諮問会議による内閣制の変容 | 飯尾 潤 | 32 |
| 「特定総合調整機構」としての総合科学技術会議 | | |
| —「予算による調整」と「計画による調整」をめぐって— | 伊藤正次 | 43 |
| 省庁間の調整システム | | |
| —橋本行革における提案と中央省庁再編後の実態について— | 藤井直樹 | 56 |
| 戦後日本の公務員制度における職階制 | | |
| —制度に埋め込まれた(反)調整原理— | 金井利之 | 64 |
| 政策調整の法律学—コンパクトシティ構想を題材として— | 大橋洋一 | 81 |
| 自治体における政策調整の構造的課題 | | |
| —動物愛護管理行政を素材にして— | 打越綾子 | 90 |
| BSE問題におけるリスク認識と事前対応 | | |
| —制度組織型リスクの増幅と減衰という観点から— | 手塚洋輔 | 102 |
| 論文 | | |
| 競争入札の有効性 | | |
| —情報システム調達入札における事業者の戦略的行動の定量的分析— | 福井秀樹 | 113 |
| 研究ノート | | |
| 導入教育としての政策デザイン論 | 高橋克紀 | 125 |
| 産学連携の政策過程—技術科学大学の設立を事例として— | 二宮 祐 | 136 |
| 情報流通構造の「政策ネットワーク分析」 | | |
| —エコマーク基準策定を例として— | 平原隆史 | 147 |
| 公共事業における草の根運動の成功の要因 | | |
| —地下鉄8号線建設を事例として— | 山田千絵 | 157 |

紹介と解説

新しい政策対応と政策の慣性

—世界銀行のダム政策と世界ダム委員会の報告から—

瀬藤 聡彦 170

書評

北川正恭・縣公一郎・総合研究開発機構編『政策研究のメソドロジー

—戦略と実践—』

真山 達志 181

細江守紀・三浦功編著『現代公共政策の経済分析』

長峯 純一 182

田口一博著『一番やさしい政策法務の本』

大久保規子 184

学界展望（2005年1月～12月）

伊藤 恭彦 185

2006年度学会賞の報告

2006年度学会賞選考委員会 191

執筆者紹介 192

投稿規定・執筆要領 194 / 会則 196 / 英文サマリー 198

バックナンバー案内 210 / 編集後記 213 / 年報委員会メンバー紹介 215

